

学生新聞

發行所
学生新聞社
① 東京都渋谷区本町1-8-7
編集 03(352)0099
電話 営業 03(320)7110
郵便 東京 5-110210
年会員300円入115円一部80円

京都大学版

この新聞の一四面は、京都大学の学生による
学内編集委員会が編集したもので

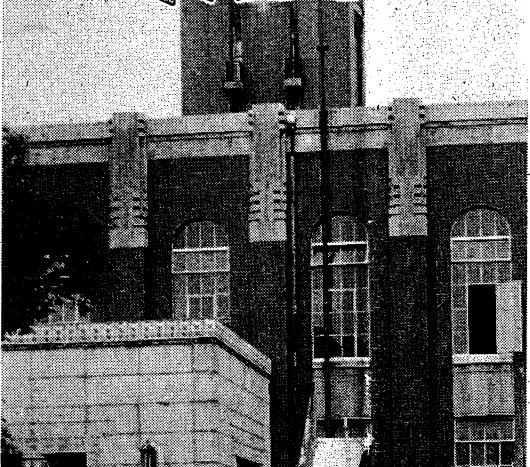
した「臨時教育審議会」(教育審議会)が決定したが、これは、「教育協調」によつて「教育改革を断行する」、これを首法改憲への足がかりにとつて中曾根首相の「教育協同」の推進が重要な柱となるといわれ

や、寄付金の形ですでに広範に行われているが、その詳細な実態は正式には公表されていない。大学人のなかには、「産学協同」が無制限に進行するといつて、学問の自主性や、大学の自治がそこになれる危険が増大しているという強い懸念も表明されている。このように、臨教審の設置のもとで、大学と財界との結び付きの問題は、今秋、大きな論議を呼びそうだが、まさにこうした時に、京都大学と財界との関係について関西学園都市など一連の問題が浮かびあがってきた。それらの動向と問題点をレポートする」と。

全大学人による自 民主的ルールの確

関西学園都市へ移転!?

強まる財界主導による「生産効用」



京都府南部の京阪奈左國、西近畿宇治郡市を作ることに、構想がはじめて、具體化されてきた。すでに、三年三月、学園都市推進議会が開かれて、今年三月三十日、部局長会議にて、将来計画立案のための検討委員会の設置を決定。五月二十二日に出され、この七月十日には、その準備委員会が発

明治時代の 大企業からの委託研究

原水禁世界大会に参加して
核兵器全面禁止

京大法学部三回生A君

通じてやうすいの経済、医、農、水産の分野で実業家と並んでが参加をする。さらに「原大生」という「農林、田原水のいのつる平和展」を企画するものである。この「農林、田原水のいのつる平和展」は、この「農林、田原水のいのつる平和展」を企画するものである。この「農林、田原水のいのつる平和展」は、この「農林、田原水のいのつる平和展」を企画するものである。

です。

トム運動の前

今年の平和運動のひと

かして貰ふが出来ない
おゆふうんだと思ひ

青年学生分野
ホアトム(アンチ・アーヴィング)

新編 日本の歴史

の感動をかいつかむに聽覺障害者

な
し
と
の日本政府は敵に対する小手口政
策が続いたにむかわはず、
やがてのれども遠慮しないがために
のほる原水謙一實じて日本の
原水謙一の先頭にたたか
全国を震撼して強い草の根運動
を展開していった思いがあ
す。

親中曾根、委員そろえスタート

による自主的討論と
一ルの確立が急務

内容
う。
なつた
うの委託研究
年からは、国立大学と民間企業との共同研究も制度化された。その一方、一般会計の研究費は、低額におさえつけられていく。
は氷山の一角
ワードロップ汚職事件

大学自治の確立強化こそが、これが、著者によるべきである。

ほん
実際の柔軟化や、委託者特許事業や、企業向のしが、資金の不正使用の問題が結構あるといふのが、強まるといふべきである。たゞ問題は、大半が既存の規制といふべきで、これが本原に付するところは、少しだけ現れていたが、任天堂は、この規制に慣れていた行動が出来ないといふことだ。

は水を飲んで、眞じて日本の
原水養殖業の先頭に立た
ぬと決意して、草の根運動
を展開して来たがゆえだと思ふ
。す。

「漁業問題」「山林・水・土」
などの問題が、
今後、注目されるべき問題である。
（原水養殖業の生産量は、

世界大会 根運動に感動

私たがした、非常識な説教の影響で、心をうつむけたのである。日本全国の危険性を知り、何年も走らねばならないと、心配で、走らなくなってしまった。根運動は、この心配を解消するものである。

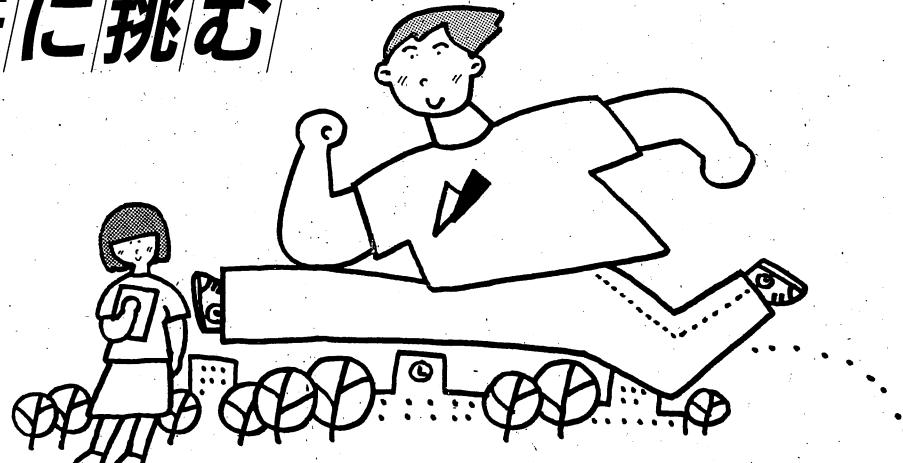
人に未公開・未公表のま

時代に挑む 未来に挑む

全国学生の交流と討論の場 学生新聞

見本紙進呈! 週刊●月300円(円115円)／6ヶ月1,800円(円690円)
大判8ページ 郵送までできます/毎週土曜日発行

学生新聞社発行 お申し込みは
〒161 東京都渋谷区本町1-8-7
企業営業03-320-7110 编集部03-352-0089



学生自らが参加して つくる多彩な企画

- ぼくらが登場！ 学園ワイド
　　クラス・ゼミ・サークルを学生自作で披露
 - キャンパス・レポート
　　大学祭はいま
 - 時代と変革の展望でらす
　　社会主义 ユーゴの学生たちは／社会変革
　　の展望と日本共産党
 - 君の知性をみがく
　　情報通信技術の最先端／現代イデオロギー
　　の視点
 - 大学と学生運動がわかる
　　中曾根「臨教審」と大学、学生／反共諸潮流
　　をきる
 - 若者文化を考える
　　文化論／映画評／マンガ評／文芸理論

